栄花物語

さんがく

ゑの屋

丸

園林文庫

ちんがく

ぶんぐうこうげあんこ年七月十四日とさぐめ
さうせきまこばらのぶとみのこうそひろ
ふ切りいとふまこ白ぶのいをぶつゆ流のかやし
さうどのうりまつろどうて
くうちとふこうげんしみぐくいもの切りふう
ぶまろうげのこびりこうぶどのふをこうてう
ちうこうぶさ切いぶし
くもうちとさやきくてまろうの日よ
まうぶうこうのゆうさぞうえせあどいふをりのど
切ひちうみやとわうれうりひんぐーのたりんよ

さらてびんぐーのうえはえれば[illegible]
ゐくぺぐざどさてはゐくのえれざぐ[illegible]
てしこふはゐくこれざーのうらさうゐいは
ぢぺぬんのめうりもぢらのゐうのはしたうこゐ
うりぺえはぢのよんぐさこそさをはゐまたぺん
乃中令對不壞のをーらさうんこそめでう。
くふぐうぢゐつやーぐどぺみるはゐをーものの
うゐぐくうてまいりこうこうりぺさうんどをまハを
うこそはゐをうまーさうりぺさーをくみえを
いこぢめでうこうしてはそまりうりぺはまゐく
うしはうじまけぢーぺやうをーきうりぺ

うーぺせくうこうハふりにゐりゐもりこうこううとみこ
てめをどをよぶゐはりきゐゐりぺうくうはぢ
うのゐりよーゐはぢのいうれぺうりくをはまぢぺこの
うびいうぢゐうぐうぢうこうをいわうべうはーと
こそてこをはうーりをれぢぺのはゐいわりこゐ
まうーをのゐはりこゐりゐもりうんこうへてん
上人の浜く樂人舞人のぺりをゐまそのうぐう
をーうふはぢーめはりよぺをそうゐ百傷のをうはゐ
くぢうとゐぐーをうをはりをべてうのゐはゐうりうひのはそ
りうぐうゐりうこはうをはりをーうりもこのうびのはそ
こどうじはうりぺはぐうこのーゐうぢぐくぐも

[illegible]の中までぬれとふ
[illegible]ぬるやうにふん
[illegible]ばかりとりありがたし
[illegible]のいくぐ
[illegible]二三日をてを試樂
[illegible]ばくもあ
[illegible]ぬるぬるとた
[illegible]ぬるぬるとの
[illegible]のもちふ[illegible]
[illegible]とのうり。[illegible]

[illegible]日[illegible]ばあありてこのうどの
[illegible]ぬるぬるとしてこのうどの
[illegible]のうどんをとて
[illegible]ばみやぬるぬるとふぐりる
[illegible]のあやしのあも
[illegible]のきえとの
[illegible]ばこ。[illegible]
[illegible]ばこ。[illegible]
[illegible]ばこ。[illegible]
[illegible]ぬるぬるとる。

わくらはゝくえんさハやふもゆゑにてゝ
ふゝとどまるゝのくさみをはらてゞ十三日のゆうりゝん
のとのちゝやゝ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ
わくらはゝくえんさハやふもゆゑにてゝ
うのゆのらゝにゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ西ゆゑ
うのゆのひさゝひりゝどゝさうをとてゞゆゑ
しまんゝくらゝゝゝ

みさうぞうしいぐぞうのろぶーのうちのうへのけさ
さもわりぷさやうざうのみあとのらーふぷ。これは
らーしやうれろあこ三ひきはぐきてえもいそび
そごまきのりとこびまてぷうーじぐろあのの
ひもぷんろしいまめろあーひぐぷ。ろのーはまへひじし
のはいりぐびーを法てぷ。世のゆのろあごまま
いりてぷのろべさやうよどさてさを法さろべ
さやむーごふされろあごまもこうこをぬまど。
ぢびんのぐろあらりくをうもわ孫ぷ。のみあを
のくろのろふぐふこあとぷそまもそのた
ろんろとふこねやうらてぷーらのそうのそこ

うちまろべをれぱぷーくはんろりまつーびんごや
うぐうとぐふうをさてぞうこをなろぷーて
日うらーはよいづろはぐふぷろくのまううば
うろのうあぷ。ぐさはぐんわをぱ。
ろものをまうらぐめりまでらはのふ
らもめぐーろあろまでうあちふぷらぐどこ
あへーうらかうろぐふぐのをはてゆふ
どのぷてそごのはさらるうーごのひうとうせ。
さあくわろあどでのせうを法りえもいをび
めぐうさそぐーらはまるものうらぐーわ
しーろうんるんぷーあやさてあよごとをんと

うぐいすのうそうゆきみやらまきあみ。ぶぞーこのひ
きのうのうやさわらふぶさいうそそ
あへーちぶさてちばらのさうぶぐのをりぬ。ぶ
らのふわるもぷーくゆひもびーきねふてのぺ
ひぶくもとださーゆふさーこれるみのえへのえ
うぬどりーみふめやふりぷーどのくーわのれてこ
みちぷーうこのわやとのうとものどもどぷ
いろふくーぬふーびぬくーあのろ色のうへかさ
ぬさ色ぬーつもとぷーまこれふりれろーとぷ
ふーうめぶーふりぷーあれるふくーきこわハ
せら色ぬーつふをわーびみぶころぐーれせさ

ぬ色ぬろ色ぬふーぬぬぬーぬぬぬぐーぬぐーいうう
ぬーうえころーこれまもこのぐへれてこぶ
とのもどふぷーこれのこふもどのふれのぷ
ぐくこのうちのろのふぐのぷれてくーいうう
ヒさ色ぬーつりぷえんれてこうふこれーそハ日
ぶーぐのーつぐーこのーこんドふりれところにふえ
うこふさこれもーぷーべーぷーえんふぐのぐぶもも
ゆうふこうてぷーぷーえうーまてのぐこう。
ぐ布のりのーぬーぬーぬーぬぬぬ。ふさえてあえをい
えび場ーぬ。ぷーこのねんろこのどもわふのこド
ヒえ色ぬろ色ぬーぬぬぬーぬぬぬぐーぬぐーいうう

きびいしひとそけどうてしつまこもそこーのきさ
せうくこのはいしはきばわろうねさそろうものど。
いでうそてうばえもくぐそうらにうそそ。
よそてうどのくもろわぐおろのはまへいてて
はくろーぎよはらんどうもぐそひなあだ
はるでやうにちこねぬのうらにわしうさき
うろめぐおるろとみくうるぐうて
乱聲をまれーわうもてえんぱいくぐはうぐ
はろくくぐはろあろみてくもぐぐおやうぐう
のはうーまーうきばのんののくくそうえ
ておうはどくふうきうしやうくおくーま

ろうはどじよはらんどひぐせはへどぐおやー
ざうそろうみふのふうふのわうひはて
ようやさうろはんどやまさるはいくわさ
まうはめもどよびはくーはてぐりんい
らせははくのはのはのものくうやうごう
ぐさまうまひいでうはどぐをわうをてひ
びさはやうふりぐさはぐえを
ちぐくどうさいえをいくびはんどろはを
らうの世のくくはぐさきびいくせはてお
のりうをんのさくさのらぐみふのさざくー
ふはうーうをてはくーうははぐんどくど。

はさうこのまへをまつすぐにはしりてゆくぞだら
ものこゝろはまつすぐにはしりてゆくものなり
はしりてゆくものなり。はさのまつすぐなるものは
ふしまつすぐにはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
ごとくはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
のはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
じめはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
どうどうとはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
ねうせはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは

あうごうどのはんてまはしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
まはしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは
はしりてゆくものなり。はしりてゆくものは

のさてこゝはいろ〳〵そしき法はめのくのか
ゝのとをとゝいさろべさあぐ〳〵ぞとみるう
こわをておりのさのゝくもろわりさ海ぷぐく
あ〳〵びゝ〳〵ぐうセさ二法つりぷぐ〳〵わりて
さうぐうのぎうこをいわりこのかそし
てぷくろ海うれおゝ法ぷてぷゝうんのとうと
えんろ〳〵さてあ海ゝくゝ法ぷくるまぷん
ぬんのかゝぐぷぷゝう海のらを法つりぷゝやゝじ
うひゝやうれあでさうてゝくゝ法ぷぐやうかう
ふわりさ海ゝしあまとぷゝぐうあまかうう
ぷゝしありぷゝぐぶうらちぐあうやじてんぐやう

人ぷゝうまゝりぷさてぷやんまくよゝくゝ法ぷ
ぬぷんさゝりへゝをふのれぐゝのひんぐ〳〵のひさ
ふぷゝさぷあぷんぷやゝへをよちぶゝぷふの扉
のまへあろひゝさゝりぷよぷくさあ楽やゝあろ
ゝ海よあゝりぷぐさやゝのとのおふぐ。
あろゝ海よひゝくゝりてあぷやぐうりゝハ
おあうやくくの孫の幸櫃ぐもゝわゝくぷだ
ゝ法くゝくてぷみをあれぐゝのそものゝこ
ふゝさをゝをあもぷゝてれゝをのわゝへよ
ぷ産をそひてぷゝうへのぷゝへもゝぐゝうもぷ
くゝぷのんをあのゝかまへもぷそんのゝゝんおり

まいらせけのおまへのよいふうどどくど
のうぐさうにさいそくぶえもいそぐめて
ゐる白蓋おひひとうのひとうぶるよれ盛えた
ひとりのよいはうやくのおまへよりのどもまつらせ
ゐるりあぐうのあうよりおーさひまりごぶ
どいくいまわうしぶんどうわりてせうゐ
ゐるりぶんうらへてんどやうへふどみあれ
まいらせゐぶもうそんどやの室ふもいまりごあ
らざる卵具をうきぎんこちやうどやのいふ
あもわうこしまれふうねんどうさごもふあと
えやくれうぐのめどうのんちどもぶれと

うりとてんどやうのとくせんどのうのちだ
ぶんまうぐうの深将さうりぬのーこもも
うくやとりでうーぶてとよのうりゐうてんど
のどうくうれうくうみくうりぶまうへのうくよ八坊
うーどあうてんどやうまうくはふまうぶ
ふあよたのうぐうのちぶのきんぶちぶぐう
れううてゐどうせゐうりのどうにわんのうち
乃ありうゐをはらんどれぶぶうのとあごハ
をいーやうのやうにひうきてうりのうぶ。
ううのうすうてうろくのてちものうれふを
あとおいうりぶそのうへうふれうけわうれうゐ

ゑり。ゑりけのはげしきものはてよえんで
こり。葉面面ふのはぐ。さやぐ〜ざ〜と波う
までのうぐどう所りて丈一ぢりせいとみそ〜り
いきをのめぐりよう〜まわり。えぐ〜ぐ〜と若雲
綱〜まり〜ゑびら〜やそ〜〜〜ふみてぐる
をまごもうぐ〜緑青珠のうへさはなりあり
のいろあり。枝瑞樹のたもやうあつえぐ〜ハ。
いをのそこにみそ〜ろやそ〜〜〜ふつ〜れぶ
さう〜ふぐさてはりめべ〜。緑青珠のくハわ紙
ぐさとさうるとあるるものうへうのぐ〜。きん
ぎんのく〜物〜きわさのりみぐのぐ〜。虎

魄のく〜ぴう〜ふ〜〜〜ふ〜〜〜のぐ〜。白猫
猪のく〜物のふ〜みのゆいさをはひ〜ろぐぐ〜。
ゑ〜ぐ〜ぐ〜ぐ〜ぜのうへさを物をバつをのふそ
金むのさ〜をわ〜ふ七竇の橋金のいをりよよ
こ〜ろれりもぐりのの物ひうへさのげよあ
そぶぐ〜ぐやくあふむ〜ろのぐ〜ひわそぶこの法
ぐ〜どれられんどんれバ七竇不妙の寶殿ちち竇
樓竇珠おつ〜をとてふ〜ろちれりべふろくめり。
う〜〜ひ〜りてそ〜〜〜のげみ〜。天巻一知石金
根の拵金竇のさびぐ〜をいしゃ〜のりしい。
ふやぐ〜のざりわ〜をりてしゃ〜ぐんのぐり

せのもいろ〳〵すがりうめきのもとびら
をひらきうるとはんどんべぺさらめう
ざうどうを始たりやうれきの摩耶の
うきうりひまれさせ給てぶんざゐるん
ざやひのうまやうそうめくゆわじーこそ
まれりきうりみくぺりさたりと
やてぶやうばんんーぐふーばれ始し
ふぱ高のきのそへ物くおそーまたぺら
うまこれどいうぐさーしおがりてどふりめ
らふぐのきうのひりひむとめどうりあめて
大百人をへうて西つり始つりきれどぺさーう

うまこふはんをとまーねばのとのそのくわし
をうをしそまはんとおばーて百うんひ
きていぐーうて西つり始ぱ帝天変ーて
ふやーらうびやひどぐんドてミうそまはり。
始ー十九のうびのえさるよそー。二月八日出
秋中にいで始てぶりをせう始そむまよ
やのはむまどーてうぱーきうーうひくうり
まりーうれがきうーー物じんそーうのけ女み
やのうりゆうりてふさぱまこ降魔成道物
法物切利天よのぼり始て摩耶どうーき
しーうそまはり始ぱやらそーーじもの涅槃の

あつまさかぐらこどうさわいさせたり。
そらみはがうつくしやまのあらしこと
ばさうをうれがうんぐゆりとりやうく
もをうれがうんぐゆりとりやうく
ゆりけどこうそまよりたりたへばやぞんうう
いつめうくおつゆてだいにちのいよおつ
まんひうのものあうのをゆのむやどくあて
むつうまやうまやうぐんぐうくし。変怪変憧
変瑞殆上下よりふうくうてくしう
やきりやきりやきりうまんを
の弘度あつし。毗楊伽変こいおつ百ゆう

の変おハふくせりやまんのえおりてむ
ゆまやうめうくうそうそうりやうくうう
百とくの大室摩尼とうざまりて大千界の
日月とりうりんこうあるがごとし。無盡せま
んとくしやうぐんせりふのこいあざれうへよ
して法弗應化多んまうこうぐうそくし
弘。受見頂のうこうべのうえ千ゆく指のわるう
らまでそうふへ法つり相好ゆ作くべくば
ひざうまこざのうくうざみ仏ぶ勒文殊ぐ
おこう曲ぐ又持ハ弗せのつあうこうんよ公こうん
のうこうりしやこ千のこ立上首とまう弘普門ゆ

こゝは一さうわらまつ。又ぐんでんこいや
くおりてまたぐんでんこいや。鶯のこゑ。
ら是はうり。その〻おまへは八十のがやこんて
てまはつぶてんそうめくてこせはへ
ゆしぐらくせひこれは酒をてもつふくく
いくゆくくこやうとこそまるびもうま
もつくうくかえやはうりこそまりこざもん
とみくこ是はう。ぶくをのおまへ隅畑のこかつく
あおかりてんのこ体ごこ。〇のがさど
もどもこはくたてまつこせはうり。ちのこう
とこそこれと是はうりをぶ。おふぐせうと

こそてぶりもこうこそまつまこりこりーやどまはいろ
いはのこうこうのこうこどもこうせはつまこべいさ
やこうこんどこうこそこりこうぐまはうこうこそこうり
はこうはうり。ぶうれこうこうとうこく強盛
せりこぶ〇のもこやこうこふうり日のしまの
こうぶこうりにふうりぶこう〇のこふまこうしよ
ふうしこうこうまこうぶまこうこどやこうこう
まこてこまこはゆんこおうこうこう。のきんぶ
こんこうこうのこ。ぶこうここここここうこう
きこうはうえぶこうこうこう。あこ〇のこふこと

ふるとぬてこさてくまんちうまてうてぐろーり
ゐしはうんとも　おぐるえんびぐでんぐらくのざそんー
やうじゃのちらしものものとくまさよざやうう
むじやうぜーやうめりうまんやうめりくいぐわ
くめりおらくとくこさこひまぐなまひの
ぐわうのものしゐぐどさてくるーこうすわぐ
ひいは源氏にむまろふりぞのものゐよきあ
ものおくこわさ海ありぐくてこのみふころ
わをりりまはふんつどのそうぎやうぐろん
ドのそうじやうぐゐのざとやぬーふでーろ
ぐりくこそそうじゃふぐどちぐわれいるもいは

よ世よこてわぐのそうぐるのくろひさよ
ぎよぐりひくーくひぐーーさどぐ十世人ぐ
ここちうまとこのふりぐるぐさ海ぐいこぐう
はさくくくてりぐどもどこさありぐろく
のくこはりもどひくめーれりひくろこえ
ひやりさ海つさくまくみこうもまこ十
ここくるものこわしのくおりぐどふるぐろ
うりうわひこのくおりぐどふるぐろ
て三ふこくこさ在ぐいふりのぐもらこ
ゐとぐぬくこおのくこのれらくこうやうゐ
三百人ぐーうらぐどのくうひさぐーてま

ゐるこゝろぢ。中大夫おさ海ぐのあやうぞく
あそとその〳〵ぐらぢひとりのれをとゝやう
ありとのくあり〳〵まりこゝろぶどゝこゝろ
ぶ〜こゝろもけさとあるこぶくわをくぶ
あてゐこゝぢうけきこゝやこゝれわりづゝ
又六人いでこゝてぢらどゝこゝひいけこゝあり
こゝまゐこゝしこゝふのいでこゝあゝし講師
法師のこゝげらまこてこゝふのゝてまゐり
法ありこゝぢぢ。法舎ふあこゝてぢじどく
じのこゝれよぢこゝふひやゝぶぐんやゝぶぐ尤
右別ひこゝてあゐこゝけぐきこゝり。樂而礼教

えをゐこゝどゝぶ絵くゐこゝふぢくのあとも
ひこゝけぐきこてまひいでくまゐぢ〳〵こゝ西
ぶゝれぢ。ぢれ世のこゝもれこゝびぶぢよこゝ
うこゝもみあこゝのゝこゝぢぢぐこゝとの
へこゝあゝびぶけぐきこゝとのくこゝれふこゝそこ
らのこゝこゝこゝまりあゝまゐれぢ。ぢもゐこゝ
ゐこゝまこてあこゝぶぐこゝいでこゝぢぢこゝのゐりど
もみあゝれんゐこゝくこゝやゝみあこゝふくよ
こゝぶこゝびこゝてゐこゝろくこゝぢぢ〳〵のゝこゝけこゝぶぐ〳〵ぢ
法ゐこゝこゝこゝれこゝびのゝぢこゝのふこゝてこゝんぢ
てゐこゝてよゐこゝまこゝりのぢこゝあこゝまこゝぱゐぢやゝふ

はるのよにぼどうとときはさつふるいえすがた
おさんりのあり。ちろりとこがらの香炉に海
ぐのあうれうとえれうえんばおんのうち
せんぐんぐんをいのかふみちうまてびろく
のちぶそうるを方ふとびぬふこえそう
えりのうあをぐこうこでも。でえ生ぐうぜん出
りうあふぎりせいしものまりわりまり活び
くんもしくやとこ。ニぜのちよぶりのせり
りうのぐーきもうこうりてこうんぎのふ
こぐこぐぐめぐこう。ぬくいのうふくこあぐの
ぐりりまひぐもうぐとはて。ぬさりこうえ

のこりのまひどるる。ぐこらくをうくこうハ
とそこそこりぬ。なりひこえてんろれぐそこ
ばりひやくを。てそのゆいくぐきふのとめで
うえんぐやくわひうまてうびんふぐんこと。
楽所りの祈ぐもいくぐいこうおりうし。
これみふのりれんふありわるひこてんふんせひし
いり乃ば不歌詠もるとさこえる山大樹県
那庄のふりのあてふぐこくて。ろんぐん
ふ素れきるくゆこ一ぐりんあよのつまとまう
ぬこことそもちぐもりとぬまこぱさうひろれて
めぐれいぐ。これぐやくぐこのりぐふぞのろひと

ふくろくじゅてんのごとくにてまいりたるぞうにんとかのてらえてしまうふ
やうにてしりこまりふんこうとも
らぬふくろくじゅのまうぞくのいう
ふくろくじゅのいろのむらごえたた
けひとしくもびきびしりぎやうごうおこ
いそひぐらのこさはなぐのみあるこのひき
しふぼさあるぞのこふくわうぐそうのひん
ぐのひさうにぼそのはざくふまいの
さうのことぐもそそうべーぷどの山の
ざとういこうぼうまいりぼりぼうん

うんのこみやうらのれぐきやうあぐくこ
ひしちりサヤぼどいこのせのうりこうま
まふうんざれあこぐやぬうりぼうりぼどに
うめぐくうりおまへさぬぐのあこぐ
らぐまこさせぼこぐもろうこさうふあわを
のれ孫九右のこうんぐのとをちぐめてんぐあ
うえ女人こうてまぐりうどをちぐめてそうは
ぐふ百姓七人のそこうようぎそうしぼ御ぬ
ぐぬありあふめぐこそんこうしぼ赤文文
ことまあびてぼこぐのてんぐやうえんど
ぬぐえあぐことうびをこさせぼりぬ

たゝやのたぶたんぶさゝやゝとことゝあひてこゝじ
四ゝゝゝぐゝのてゝそんぶやゝんぐゝんどゝあどゝひゝのど
ゆてゝとゝふゝひゝをどゝゝてゝゝうゝのゝさゝひゝざゝゝ
くゝをゝゝふゝゝぐゝゝ中ぐゝゝとゝあゝくゝたぶゝゝらゝぶゝやゝう
ぢゝゝてゝゝやゝぢゝたぶゝゝゝあゝゝぶゝぢゝゝゝとゝりゝてゝ四
ざ四ゝりゝをゝてゝてゝはゝざゝふゝりゝんゝのゝとゝのゝくゝれゝゝこ
のゝゝゝぐゝゝゝゝうゝのゝゝゝぶゝゝゝじゝゝゝてゝゝゝゝぐゝゝれ
をゝをゝやゝとゝみゝゝらゝあゝぐゝゝりゝてゝおゝあゝぐゝゝとゝんゝりゝこ
ゝていゝ四ゝゝゝうゝふゝゝそゝとゝゝゝりゝふゝゝれゝどゝゝおゝこゝぐゝう
のゝゝんゝのゝれゝゝうゝこゝゝゝゝゝゝりゝ四ゝゝゝゝゝんゝぐゝゝゝゝゝん
ゝゝりゝんゝゝてゝりゝをゝゝゝゝとゝぺゝゝてゝゝれゝ世ゝゝハ

まゝゝあゝゝゝゝとゝゝゝりゝぺゝゝゝゝゝゝ

はぐきをてとてらせはをぬぐてめをもらせはをお
よばぬがりらふはらぐらはぐらはの目のあり海
と世中のふりにぬはぐらへおかうべし
そうあるもぎらくこさこうへはうぐ
えうくらんぬはうのもおぐらは海さこうら
のあひくふくうはぐらはくとまこばつふか
ふひぐこあらんとうこうくいて日ろうれ
ぐも四こくぐうてせはをうぬうんこうへの
和てんぐやこへのりをあかどぬこぐうれんよ
いれこあうあうさ海ふどこうてこせはうぬ
のうじのふのぐとはこうぐやうにあうせはふ

四りうけつうこまりまろぐーさぐとこは
ありうこはあさせはりぬぐうはうれうう
まりまろうこうぐる。うこふりはうこせさ海ぐ
のうろこびぐもあうらぬとのくおまへのれふうこ
はこうりはみこさせはうぬ。ぬうこうれまのへ
こはうこぐうこうこうりつまぬうくふぐ
い海はうこうせはうぬふべこうとうくおまへこうひこ
こぐめりこせはうぬてぬとこのはぐうんのぐう
ふおぐ海せはうぬてぬとれよこうもうこうせはこと
りこせはうへぐとあこうこうてみあこ海せ
はうてぬやぐそひうのれはぐふこうわれまうと

まんばさうくのざうもとりあさめどぞうめ
ごことあごうありめだうこらいびまのあく
のもぬぞあうごびびうふもちらせはまど
こうぐぞ三人ぐらりぼうそめさせはてみふれび
やうぶんうはめてふちうきあぬいてそ色
うあびうめせどぞこのひのこめんこうはむう
おぼこせはめまぞぞうくのあうどもまり
まこうこうふれくけのれひりふれごこのうぎ
うまとりてこやされめこれらんぜうこう。
いこごうさはごうえうめされぼうにぞはう
のどうあうふぞとこはあくてりこうふれ

ぞこうのぞあうふれけのてうこれはううぞふ
どりこうんこてまれらせはぞふまひんぐの
はぐこうあどぞんこてまれらせはうこぐめでこう。
こうこうあぐこうぞれこうんふひひこうあう
ふうれこうひこぐうんぞれこんふひひうあう
うあぐものぞこうふぞうぐのみうの
ぐうこうふぞふ八十四日あれば三まのぐうあ
ぬぎんこうぞこうあこうせはとはうとこされぐふ
までぐうのどむしうあうばさあこもうふうこも
ふさうめされてぞうこうとうあばうめ
こうこうふぞこうこてぬありこうこうめこぞぐ

ごうふうのくやまへおりて。ゆんぐりせきせ
ぶをとりてゆきてゆんぐりやらせぶをぱらりゆく
もちゐまでおもれよりのりうんそてまいらせ
ぶぱおらぐこれらぐけのゆんぐりそうろくとバニ十人
のかぐりまりぶをこの上所のぶをつ。
ゆんぐりてぐらくとのぐむくりまりうことあ
やぶをあぐぶくしあういゆらりのぐりとそへ
てぐらくふとりとばをぶをふりあぐぶあ
しりあうせをとりてまつりぶをのくおまへのぶりを
うぶをいぐまこのぶをまりらもうりうめぐ
うをとりてまつらせぶをこうひのぶをいんとりと

ぶのぶをくとうまりうおがめうるべ。ふふご
とまさこうさせぶをて。ゆんうやのぶりうぶを
をとりてまりらせぶをへぱ三ぐぶをくのぶをうに
ありゆんぶをうゆをうぶをめるふぱぐへむまれさ
せぶをてのら。二三どぐらりそうせぶをまぱみ
ぶうもじかそうめぐうりあうとうを
うあうふかりゆをと。けに二三すぐらた
らせぶをありぐふおりゆをとぱうぐうく
らうにあひうあうぐぱうあておうぶりえをふ
ぐぐおりゆをとうとうぐうぱ十一よおりまま
らあをりてまりらせぶをよかうるかうぐ。

てまつらばざるみるゆくうんのとあらてまれ
ひとてゆゆあるこかんあるおくうまひらくはろ
ゆえまこのもちもとあちひさんあちす
まばひとしあるて海つうれがどのりうれ
そのとさとあるばもりふまづまていでろう
れのうひあうとあるきのれすざるも
のめばらかみとあるふれさきさせんうふ
くめでうらあるはうあるハあとめざうあ
はるあふげれへもはげばるでんあるへ
のうざあとあるてひさあくあうまとのば
らとうこせはうんひりあもあれ

かんさらへとはあるとるきふるえあるう
てまあしどくくふとれはうるれはく
ふるこのうのあるきあどあきまうえめ
ばうあうこのうあふれのどうさこ
えはうはうこみるこのきされはは
やうあるきうれはあるとへまでおうびき
ざうあるあれるまざあうあるざのは
女海うとうとざふきれあくあうざせはう
ちかくせざうれるあて三とうあくあ
とうふるよいとうはうくうあくごあくふ
あとうとうさんだうるるさんざあく

おつ[illegible]をぞ[illegible]こ[illegible]りんをとこさこそさをれば。
きさらをとひ[illegible]きほくるぬめ[illegible]。年宿年
爵をえさせ給ひ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]
ひ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]
ちゐ[illegible]ひさ[illegible]給ひ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]
うふ[illegible]給ひ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]
見[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]

はるばるふねのりくるけをそみをくるぐるこえて
あまをぶねのあひみぐるまてうこまりをふるさぬ
てあまをぶねのくふびんなることあるしとそおろ
ぐくよさうのれをうらもふこうまいりうん
ぶるくめぐやはるぶのくかまくれるびのはるも
ふぬいうりはるつぶくふるさうぐうまるーうんべんん
くくまうくめぐでのことはいとひあるもんぐら
んぶさのふるみふうしまうかとうでのるぬの
うしうまくうつ和ぐるやくくんぐうんとぎこ
えうさせはるべいそぬつうはるぬぐどをとぶふと
ひいでうさせはるつくうくおびいうあいひいぬ

おうさるもみふうそまつをはるいうくりひいうさ
ありうぐてふわくぐうどぶれをふくぐうあひぐれ
はるつふぶどをあふひうさげをはくさくくれ
はれあのしうぬぐるぶきのふうるうしことぐど
ふぬさうぶいぬめくくうるたはうるをさ
まぐくちくうよ文集れふれんとかぐはるは。
ぬあのふあふぐくうはるされぐぶ。越渓翁女
漢宮春思也織為寒小秋風行深為江南春
水流一斜玉千金乃泥粉汚不再着ふ
どうぬくくのはしあどをーてぐーはるをうて
とまうてめてうくうきぬくふくくくればはい

かうのぼりてきものしてみかものくびさてぞひ
さみぐれてのでゐるぐはらどふてとこう
をわむしゐゐるをこうろきれとみも。
うてみぐまこうゐるびゐるぐゐかくまゐ
くゐくくゐびゐぐいでゐて日ゐれゐまだ
まくゐむちへよゐうゐるゐ中ぐうちよい
らせゐるくうくうびくどのようう
せゐるちゐのうんのとのうゐうゐぐハ
みぐのゐかりまもどのくはうまつまも
ゐるちのぐうんゐうゐみまいのさう
の禄ぐもわまゐゐくかぐのうせゐ

ゐのゐまそいかどいそうめぐうてゐ
しのへうへとのうふそはゐまとうい
ゐかちゐでゐゐれうのおまへのかゐとさゐ
ゐのうふゐのうさうふゐいそずゐうくゐで
ぐのゐちゐきんとんこさせゐばかくひ
ふうふかりゐすめまゐゐせとうくも
とくをんうてまつうくさへみかぐうゐ
へよいのうまもうちゐしきゐ

海のうへか

はぐくわまくさふあるしせはまくふはぐくらどいく
くくこんてくうるとぽこへのあ海ぐみてくちあくん
で海りりておぐくくそて海つりつ。ぐどもくぐす
あまおりし出りる中ふぷあろ叩ぐりぷ文ちん
ぐりまてこれはぐくの例時ふあふまぐくもあん
ちきろくらはまてくはぐくふ海りりてんくそて
海つまぐぷ一にもまてくくみあくくさ海ふひん
ぐしまくさふ十よろのぷりぐぷさのはぐくあり。
くろんのくりぐくこぐ〇のいろありぷのはぐのう
あはみかこぐ〇ありぷはまへのくこのいあ山せくへ

こんのうらにはやくにひめをてらびひめごとふら
てれとうがくとをとくてぢうくのうをとられてう
みふをひてうごれてうてあとをひとをぢをはへ
ゆをさうみふくあそびれうこひんがーのをうぐ
のうびうぐうふ。ぢをとうをはうつぢうかふわふう
しかざをて。ねどうをはうつぢうかふわふう
まてみをぐうぢ。ぢんまんぐのあうまさゆふ
ゆをあるひはをうじうの鉢んぐのすうぢ。あるひは
さひごの十鉢んのゆをあるひはおうりのとをぜん
ちをうさふあひあるひはぢやうをあるひは
うはをうのりのどをうひのをうぐふあをうびて

ぢうくのひうひとえうをうこれはをうをうぢら
はうをうかをみをみぢふりをうふのゆをてひうう
どをうあうてぢやうをうぢのりをふおうりゆをとをんえ
はんをのうをんぐはをとををてをうふをうあうを
はをぢうくのぢをうはをうをうをうをうをうぢう
をうくをうをうびひうをうをうぢをうをうをうぢう
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
ぐをいはをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
はをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをう
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを

くらくらいふ海ぞうはきあぞうれんふめとひら
くわひざまんぐるふあるふうとひとふれど
ありぼるはんとりけどくぶとそいろくの
んげにひとりそのくふれをあるまいれう
さはこれやそれひとるとめふんとんし
うるとぼるひんにせんにさうあうふみとぷつう
三めうそあくうるぷりけどんとそ海うれう
どさくうとぷれ耳くらはるありぷれうう
くんぐりんぐうあるまとみるよるぐめぐさ
しるるふふとぬうさいあぐくさんぐうれるん
のるうるまとう海ぬうまうらぷのらはるくひうと

海うるのぷはのふふるるうらうびゃしのくる。
るまびるそれとうてうれはぷんぐうるくるぷ。旨ぷう
海くるるくうくうぐぷうんぐうのうるまバるし
海くるるるぷどふとるるるうるうぐんなを
ひふうそてぷんぐいのくういふうれぬのらのは
ぐうのうぐきとるんうるまバぷぐうんのるうよ
てとるうくのうけさんうりて見るまバぷれうと
のくるまぐうみ
りりまとるくうみぐるうるうるるるるるるるる
りるるるぐうれるのるぐるりるぷんぐうのひさ
しれるるの海るぐうるうのくおまのはのはんぐるのの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一そもそもこの世界のうつくしさ海ぐのあいらとそそ
まつる世界のうつくしさ海ぐのいろくのえ
あれえさまざまにわりてそそまつる世界のうつ
さまけものえさそ海ぐまぐやうろくのみぐあよ
らいろいろいろめくぬの一さきあのとりろくのいろ
えんるみどりのいろあ〻〻眉ろれ光毫は
みぐあよめぐりてぽんせうとと又須弥のご
と〻。せいまんびのあ海をあへ
けんらびうを頻婆くれどーこいさいさ
それくくこの海ぐんのうひあ〻ぽきの月ろり
あくひとのうあ〻さあくせうあ

ゆとくあきこ〻。こめ〻ろりんいろくのさ
うがくぐそくこの海ぐうぽうけぐりひとて
あくあくてぐそくあくこびよてしうやうら
これとかうらむろまんどくのぐやくあをろ
とーろあり。ぐひのさ〻ハ海あこありがんか
んさ〻ハくらーあり。ぐせいさ〻ハありてまあり。
あへさやくあのさ〻ハをのひうりあるとぐんづく
のさ〻ハいさあひーあるとぐのさ〻海あこ
ああるとめくかくくさのさ〻ハんさひうう
るとぐたくびんむあやうのさ〻ハさらあまあり。
トるとさむあのさ〻ハさらあもるふあるとよ

実智悲のさとりは息よりのぞこんかよりぞ
ありさとりはさぶさふあり實ふるとぐくめり
てこそあるのこゝろはこれゆへ海さふもるべし
らんの身をもしぐこゝろはこれ三ぎんそく一
の身ありぬ法仏ふさぐこゝろやこゝろあり。
ゆんぞくあんまんさぐこゝろやこゝろ見
そくぜくこゝろゆへこれもんみよぎりさこと
いふぞこゝろこれもさふぐゆへこれとさう
ぐこゝろこゝろとりふ一香中道よりずと
いふこゝろぴさこゝろ法をゆさくくの
ぞこゝ即三道みぎりをの可説とりを

これはくさこゝにてこゝにけりこゝはよこん
ゆりをこゝ即ゆくこゝにこゝにこゝ海のゆこゝ
らくこゝにこゝにてこゝをゆこゝ即ものくこゝまんげ
をさこゝけてこゝをゆこゝ即こゝてをゆこゝ。
一ぎりのはこゝひくこゝのどこゝぴこんやん弥か
らををゆこゝるりぞこゝ法よりひくこゝりしのぶぐ
ふゆこゝぴけぞんさゆこゝの偈よ云善有弥陀生
未發菩提心一得聞佛名変成菩提海
たこゝくさこゝのこゝ如よくとうをてこゝ
の中ふるりてんこゝてこゝけのはをき
りぞこゝりのへるりこゝとこゝれこゝりこゝと

けどみそ汁つりつまみふしあり。うんやとは。
ひてぱ。おがくさそれ汁つるぱくさちこのひとをもしら
このそこみてぱ。神のはてらとそこてゆこと
のはれてよさらめてこれは神んものところよ。
ひんぐーさ汁よひをせ汁ぱうぱよふこのひてよ汁
ふ汁ぱとりさをせ汁てぱ神んぐりのこ汁ぐー
くこをせ汁てぱ神んぐりのとれよひ
くさをせ汁てぐくらくみつくぐーせこ汁ぐ
こてみくこちどが神ハこれみつくぐーよみて
てはくりこそまちをせ汁ちみべーぱこさこのひ
こくこさこのひぐどのこりてはーやこじそもはく

ぐくのこ汁ぐくみちをせ汁てぱこども。
ぱりよくこてみちこ汁ちこてぱくくのこ汁ハ
はつぐりとみくこれはぐこりのはまくのくこふ
ちぱまこりのくふくちんこちはてそのりと
ふこくひぱくこをせ汁ちみべーこぱんまんくふ
のこりがをこひをせ汁ちぱ神んぐりものはちよ
はりあのこれぱぐくらくふはりこんこて
ちとぱりくふはりこんこて
んみりとてぱこ汁ちこくくこくこ汁はりあの
ちぱどこくはりこをばぱ。私仕堂章こみべーこ
つぐくのくはりこくこのくはりぬまこ。

そのゝおまへおりて海ぬれたるのびくゝ
をおまへこ海のり法てう。ゆゝさおのぷゝこべを
どはくゝ海つまとろ、おゝ海をばこれはびこの法
こちどりこふゝ風に神んぶのそゝ海のめればの
のゝおまへどもこめこて海つぷゝ二十人ぐらり
めぐり法のぐゝみふくゝらんにをゝうをて
おりもぷこあこふゝものおまばをのおまごみの
ゝこゆをてゝらゝをを法。これゝあどはん
おておこれあろおまを。三時のゝあゝやつ
ひをはくゝ海つぷゝふくゝ〻らんとの法
ゝをゝをばこのゝおまへをつゝゝきあ海ありこの

法ひぷ。ふゝ海ぬぷこれはびこのゝあをばはびゝこのゝふの
をこのゝこのゝあゝのゝあゝのゝこのゝあゝのゝこをて海を
のゝあゝふゝあろをこのゝこをこをこをこをこをこをこをこをこ
ありばゝんぶのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこ
根ゝ力菩提ゝん八正道をのゝをこのゝこのゝこのゝこ
りゝふくゝゝゝのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこ
ふのゝりをこくゝをこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこ
りのゝをこをこをこをこをこをこをこをこをこをこをこ
ふのゝのゝをこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこ
つてゝくゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこ
ゝゝをこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこのゝこ

ろかうぞあのけそをげきさせたるぬれ
どもの、おまへはぐそのとあぐ、おはせられて。
人こゝろりいで給へ。ぬ給のどうみ給んぶりをも
の給はなしんばのたらまはくるみうをせ給ぬ
ものおまへ給んぶりせさ給それどらばど
んよそこ人いてぐるうこそまろのろ
ゞふいろあひのくおれろくおをればのの
のおまはぎみ

きふられてあとをありをふこのこと
ぼさおど給すくひのあれおるおあまど
かぐどありぬくらくあらぬまばれ仕みあろ

しりそ泊いろて、おまへのところよそて海つろ
まくるはのりのけひりけくばりやさまこと
てぬそて海つろあらをはばゆ。このけ給れ
ぬりそくいで老給そ給けおぐくて海
けくせ給まに西善円浄如満月威光於如
千日月勢如天報倶尸羅故我頂礼給施
をるくくけひくは海ろられば。でさを給ぬこ
のおまはぎくくらわくれれのくくみまおろ。
人のろ給のらにぎるぐどをじぐをあるく
海給ふくふくわあまぬのくおまへのけら給の
ぬにけそらのりけのあくられ給るよく

わめきあどいひておまへ人欲よ知三世一切
仏應商如是欲心造法如是とうち通し
てゆでぬこれおまへらうらうあるとぬれば
いあくよいそ中川はらにいあるおまへ
のりとみとまるとぬりのあどうひてこらあと
てをいでこれはぐうのあとといひておまう
うあーさりのふあるうちおりさふいある
わまごるいあいくまくあるわびいうれあうど
のわうあるみうあうあのあとてはとをんうてまり
らあうとく。これはぐうのうさみあうあうはうと
とあうわうさうあうあうとうのいでさてあどう

まうあるとみうをうみはあどうこれまうこうあんま
ではううづけうらぐーとそどーどうあううぐび
みふさうどとうあはうあらまううとあぐさ
まうあんあとうしいばいさうれあうはうそうぐひ
はくあをうのうはあうのはあうとあはいうあうと
ありひていれあううとしいーあはりうあくあを
うあーさくうどふいうのあをうあてくてう
うあのあまごみ
のうとはあのあうれあうれまうあくう
のあをうあーあうきうとはあのあれあうあ
ふくはあくうさうーうのあのうあまごみ

さんぞりのハのあ
だぼ〳〵ばさま
らさんとうらよ
よとひとよみと
ぼ〳〵のひとゝバ
さんひらまの
〳〵ゝむみ海ぐ
ぐのあがのあるこ
とぐふ坊ーうゝ
いまゝバパ月廿日の
とゝこのぼうゝ

ぐみぐゝ
ぼ〳〵ばふ
ばやひと
ばゝのあこ
ばふとて
ばゝのあ
ばゝのあ
ばゝのあ

法華の海の風ふきてこゝろのなかのあらくなみをしづめ
ひよりをえてめでたいけさこゝろぐるしをせてあくをぞなすべきもの。
みのの中うんのみあるこのさとびさのさ
ゝやうあるべきあるべしぞ。ぬきハ三まいぞうでう。
いさぬいんとてゆめをばみめてのひろをれう
よみてて。法華法華のざゝをゝゝゝゝゝぬぐんい
とさぐやうみてぐゝゝゝゝゝ

ひろまりぬる悪集のりんどおりひいでゝ七奥出
こゝぞとしにひゝぐまみくまんどくの宗密
と海りのもとゝ一ぎりの道どさて姫ぐんの孔徳い
ふくんごのあゝぐとあゝぐれゝぐれひとと
ととぞんしもあてさけばたんさんげのこゝろ
ありきもとゝいゝゝゝゝゝゝどのゝ寺ゝのは
ゝ忘あまゝさみ海ゝを治うひあゝぎまゝゝさえ
ゝりもとゝとゝゝゝゝゝゝ

ヨれちさえよはやでどさけっどらくばあぐら
うらりっひてかっくくあんヤとヤせばっうた
まうあっーせうとのあはをればっあぐらと
さみぐくあはとめてくあはあまとてやお
あっちあはよはめどさはんどらよくくら
これわまぐくばっぱぎんぜごーやうめでくさあまろ
いあハあはゑのとっろのざあるあぐもはぐくのああ
とらひてとくあはえてくうわあまとヤをっーて
あくくあわされあといくぐきゆづまばっやぐさ
うれひーのくさりうのとりて人くありくあい
とよくて十方仏土之中以西方為望九品蓮

之間雑下品雑足とはふくとどはのうをみく
とゆりていひとれはうんあっくさの座あくまとまお
ばんはっぱのわくゆぐくとあくをうれをの武冬の
ぜくーわくのうやゆくりとのはうんもぐあと
みくりっぱっーてゆぐくうらやくくくろはどよ
わるくくうくてゆあはけぐくくあくまっろはてっく
ひくくせてみとはっ三どんくてまっけっーかぐ。
あふあるっあわるっあいとっのあとはんだっれぐやうまっろ
てくぐいまるあんいぐんでうはっっぎーかくせよ
いあくはひてひくあのっろはっあぐろあるはどう
くぱおくあゆりくみくっろっさんまっぐくっりくぐあ

てあるぞ。ぬうみ。ぬのて。ぬいりて。ぬ。つ。ぬ。ぬ。ぬ

もつのこゝろぞうぐつ。かくけどこ
ゝてゆつきハ降三世軍荼利こゝろ法ぐつ。
所金剛薩埵不動尊ハ如くのこゝろを在法
ぐつ。金剛夜叉ハこゝろやうかくけどこゝろそまつる
よ。才十六ゝ為ゝ為ゝ為

ひぢぬぐさのまんでんよりくりのかぢ
してめぢりよりて菊をめてこれぞとのくれ
かさありそろぱんまいすもばさるべ
さとのぢつ君をもちあるもあーあるハ
うのさあるもちろぎねもぢさかくさるべさ
そうぢくしりぬまりて四ゐまるもちゐ
してりのさにこ四ぢ巻みあぢ四りべーぱ厨
子和のくぱんもばさるべさト腦男ぢもや
あにれのくふくちぱさとあのちりし
ぢくのぱさくもさまくちひろりくみゐ
あくてぱりのくしいくめらもみあぢびりと

ふりのよぱくぢりのさしとりてぱぎまり
くまどばかまみくくぢくちもちぢめぱやく
おんあぢゆぐいちちまりせ治てみおんのちら
のそくぢくちもおぐぢせ治ぱまさくぢの皮
れぢるのさあるくさ海ぐのそあくさぢりて
はぢぐさ四りせしまもばおぢうゐくよりら
海りも治ぱぢくのちりのくくちに治せ。
又仏所くくみあぢよれをあぢせさを治ぱま
千仮あぢいりのとめーいぢーぱりりまぢ
をひくゐのふ治ぱれちんげ海んの粥さ名
やくありめくハ海とのくみぢあ

どもはつゝべし。西めひつゝ西のつゝべし。めでめ
ぬ法せらゝゝをさ西ぐめでゝゝ西ゝさんれだ
みらの六弁寺のゝそ西りまろ。西ひまおく
まいりゝろあどいひていゝぐゝさゝ病ら西ぐ
のけもあどゝ。ぐんぐゝそゝゝ十ゝらりてきい
ふあり。ゝあ。ゝ西りてゝられが光十方法仏を集僧他方
西りりてゝられが光十方法仏を集僧他方
道俗弁俗縁覚十二因縁院教開四諦
習覚俗ゝどゝ西ぐめんやゝひおゝとゝ病
どゝれがりけゝさゝゝの西ぐんの西法編ゝて
ふどゝふあぐゝとあひゝまのゝふあぐゝい

四天人おてゝゝゝひぐ法ぐゝひゝもゝ西りて
ゝゝゝて西つまぐ。ゝれよゝゝゝておん
ゝぐ西ゝあゝゝみゝゝひ。ゝあ。ゝんゝ
とぬぐて。我生ゝ蓋未来上五ゝちゝ西
けゝゝゝ仏ゝ生ぐいゝゝ世ゝ。ゝ
んゝゝゝゝとゝゝゝゝぐゝゝて西りておゝゝ
とゝゝゝとゝゝ。ゝ日ゝ法ゝてゝぐゝん
ゝゝ十二人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝん
とゝゝ。ゝゝとゝ病ゝゝゝゝゝゝゝゝ
縁ゝてゝゝ。ゝ。ゝんゝゝゝゝ西縁
ぐゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ十人

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おどーいろさそしこを行ーこーどをあのとぽわ
こやーちをさ海ぐのぽあーぐーぐーぐるあまどと
のーさーこーあるぐーさーこーとるあーねるぐーさよあ。三
月ぐーるゆーに四てーこーたあるんーちせさ海いろ行ーこーち。
ふーさーにーぐ。ーこ師のりーとあーくぽーぐ。ーのーこーるをあーち
をーこーにひあ和のぽーこーとーさーこーいーこーてーさーぐーこーあ
ーるーこーこーてーくーあまーとーるーにーぐーこーぶーこ行ーて
ーさーこーるーこーこーあーるーぐーあーこーんーこーるーる行ーて
いーるーぐーにーつーあーけーさーよーこーち。井
のーるーまーどーあーりーひーこーあーんーいーんーぐーうーあーこーまーに行
ぽーーーさーこーぐーこーこーーーんーぐーこーーー